

【主なご意見・ご質問】

項番	ご意見・ご質問（順不同）	説明	備考
1 新規	新たな学校の人気が高まり、学校選択制により収容可能人数を超えて児童生徒が統合後の学校を選ぶことは考えられないか。	学校選択制では通学区域在住の児童生徒が優先され、収容可能人数を上限に校区外から募集が行われるため、学校選択制により収容可能人数を超えて受け入れることはありません。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
2 新規	多様性や地域の特性を活かした教育については、小中一貫校よりも義務教育学校の方が相応しいのではないだろうか。	大阪市においては、令和6年4月以降に新たに設置する義務教育学校は、設置方針において9年間の特色ある先進的な教育を実現する学校として位置付け、広く児童生徒を受け入れる全市募集校としています。義務教育学校設置にあたっては教育カリキュラムの策定のハードルが高いことや全市から児童生徒が集まることで地域の特色が薄まることも懸念され、小中一貫校での整備が適していると考えています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
3 新規	佃小学校の現2年生（令和7年度）の在籍数の少なさは一過性の事象であり、適正配置の優先順位に影響を与えるものではないのではないか。	佃小学校の現1年生は2桁の人数に戻っていますが、単学級の解消は見込めず、適正な学校規模とするために早急な再編整備は依然として必要な状況と考えています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
4 新規	佃地域以外では中学校も含めた適正配置を実施することは難しいのか。	佃地域は小学校の統合により地域に1中学校1小学校となるため、他校区に影響が少なく、他の地域に比べ小中一貫校の設立に適した環境であると考えています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
5 新規	小中一貫校で統合した場合、小学校の卒業式はなくなるのか。	小中一貫校の場合、小学校と中学校はそれぞれの学校施設として残ります。小学校の卒業式も中学校の入学式も執り行います。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
6 新規	小中一貫校で統合した場合、中学校進学時に接続中学校以外への進学又は接続校以外から進学してることが可能か。	お見込みのとおりです。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
7 新規	校名はどのように決めるのか。	秋以降に予定の学校適正配置検討会議内で意見聴取し、決定方法等を決めてまいります。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
8 新規	小学校6年生は小学校の最高学年として、様々な経験を積む時期と考えるが、統合後は中学校校舎を活用するとすれば、経験を積み減くなるのではないだろうか。 中学校に入る際に気持ちをリセットしたいこどももいると思われ、こどもたちも混乱するのではないだろうか。	他自治体において小学校6年生が中学校校舎を活用している事例はございます。視察等も行っており、今後、メリット・デメリットについて佃地区に落とし込んだ内容を整理・研究のうえ、お示しすることで、こどもたちや保護者の皆様の不安を除いてまいりたいと考えています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
9 新規	将来において、小学校校舎のみで小学校1年生から6年生の人数を収容できるようになった際はどのようなカリキュラム構成となるのか。	現時点の推計を勘案すると、現在の佃西小学校の教室数では、小学校1年生から6年生までを収容できる見込みはありませんが、収容できる場合においてもこの度に定めるカリキュラムを採用していく考えを持っております。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
10 新規	小学校6年生児童と小学生の弟・妹がいる場合、参観日が同日となった際は校舎の移動が必要となるのか。	お見込みのとおりです。実施される時間にもよりますが、中学校校舎と小学校校舎の距離も近く、移動いただくことで両方の参観に参加することが可能と考えていますが、他自治体の事例も調べるようにいたします。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
11 新規	学校適正配置検討会議の名前から、学校適正配置検討会議の中で再編整備時期や方法を決定するものと考えているが間違いないか。	再編整備時期等の学校再編整備計画案は、学校適正配置検討準備会や住民説明会の意見を踏まえて、大阪市が作成いたします。一方で学校適正配置検討会議においては、学校名や校章等について検討することとしています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
12 新規	保護者説明会（令和6年12月開催）において、参加していない保護者も多く、理解していない保護者も多い。適正配置の方針等についてはどのように周知する予定か。	説明会等の都度、資料や質疑内容等を区HPに公表するほか、住民説明会を開催いたします。各委員の方々におかれましても、所属される団体において周知、意見の集約をいただけますと幸いです。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
13 新規	学校選択制により小規模化が進み、統廃合を行う必要が生じたのではないか。	学校選択制は、「子どもや保護者が就学する学校を選択できること」や「ひらかれた学校づくりを推進する」ための制度であり、保護者アンケートにおいて約7割の方が制度に賛成されております。学校再編整備とは別の制度としてご理解ください。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
14 新規	中1ギャップを解消する代わりに、小6ギャップが生じるのではないか。	9年間を通した緩やかな教育環境の変化とすること、教職員間で情報の連携が行いやすいことで、ギャップは軽減されるものと考えています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
15 新規	小学校の卒業証書はこの校名で作成されるのか。	今後決めていく統合後の小学校名で作成されます。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会

16 新規	小学校の卒業式は小学校と中学校、どちらで実施されるのか。	学校適正配置検討会議で決めてまいります。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
17 新規	保護者説明会（令和6年12月開催）と第1回適正配置検討準備会の開催は逆の方が良かったのではないかと。保護者説明会では統合方法等において決まっていることが少なく、時間を浪費したと感じる参加者もいたと思われる。	統合方法等決まっていなかった部分もございましたが、当該適正配置の必要性や検討にかかる進捗状況を一早く保護者の皆様にお伝えすべきと判断し、まずは保護者説明会を開催いたしました。今後は当該準備会で方針等を定め、住民説明会で説明を行う手順を予定しております。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
18 新規	西淀川区の児童数の増減率が大阪市よりも大きく減少しているが、要因の分析は行っているか。	児童数は全国的に減少しているなかで、大阪市の一部地域においては都心回帰の要因等により児童数が増加していることが要因であると考えています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
19 新規	小中一貫校の魅力等メリットを教えてください。	他の事例等を踏まえ、住民説明会等でお示しいたします。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
20 新規	佃地区学校適性配置検討準備会において、当該適正配置は小中一貫校で検討を進めてよいと考える。	ご意見を踏まえ、小中一貫校の方針で検討を進めてまいり、住民説明会等において保護者・地域等に説明を行ってまいります。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
21 新規	今後開催される学校説明会においても検討準備会の内容を前提に話をされるのか。	お見込みのとおりです。また、今後、住民説明会を開催し、その際の意見を踏まえ、9月頃に大阪市として学校再編整備計画を策定する予定です。本計画をもとに学校説明会等、対外的な説明を行ってまいります。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
22 新規	住民説明会の対象はだれか。住民説明会の時期はいつか。	住民の皆様が対象です。HPやチラシ等により開催のお知らせをいたします。6月下旬を予定しています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
23 新規	保護者の意見を伝える場はあるのか。	佃中学校、佃小学校、佃西小学校において、7月上旬から7月中旬の2週間程、意見を募る箱を設置いたします。そのほか、区役所までメール等により直接のご意見も承ります。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
24 新規	次回の佃地区学校適正配置検討準備会はいつ開催するのか。	8月上旬ごろを予定しています。	令和7年6月13日掲載 第1回検討準備会
25	一部の千舟地区は場所によっては、佃小学校の方が近く、千舟地区を佃小学校の校区に変更することで、佃小学校の適正な規模を確保できるのではないかと。	千舟地区を佃小学校校区に変更すると、一時的に、佃小学校が適正規模となる可能性はありますが、児童数が減少傾向であることから、根本的な解決とならないと考えます。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
26	区内の適正配置対象校が複数存在するなか、当該校を優先して取り組む理由はなにか。	当該校から取り組む理由としては、佃中校区下においては小学校の統合により、1中学校1小学校となることから、統一感を生み、魅力化の向上が図れる学校再編の検討が可能と考えられること及び、現に佃小学校の1年生が5人という状況から、早急な対応が必要と考えるためです。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
27	1つの校舎に収容しきれない場合、どのような対応を行うのか。	校舎の増築や分校舎の活用が考えられます。校舎の増築はグラウンドが狭くなる等、方法によってメリット・デメリットがあるため、今後の検討準備会議等で案をお示ししながら、方法を検討します。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
28	義務教育学校について、前期課程と後期課程で文化が異なること、9年間の人間関係が固定化されること等のデメリットがあるのではないかと。	小中一貫校や義務教育学校におけるメリット・デメリットについては、今後の検討準備会や住民説明会等で案をお示ししながら、ご意見をお聞かせしたいと思います。なお、ご指摘の9年間の人間関係が固定化される点については、クラス替えができ、適正規模となることで一定の解消が図られるものと考えています。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
29	学校再編方法等、どのように意思決定を行っていくのか。	学校再編方法等の案については、行政が責任をもって具体的な案を示させていただき、検討準備会や地域説明会において、保護者や地域住民の方々に参画いただくなかで、ご意見を聞きながら進めていきたいと考えています。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
30	検討準備会等の内容はどのように知ることができるのか。	区役所HP等で公表する予定です。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
31	検討準備会はどのような構成員となるのか。	保護者、地域、教員の代表者等を想定しています。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会

32	佃小学校の跡地はどのように活用する予定か。	学校跡地について、大阪市では基本的に売却する方針であり、一定の場合には定期借地・借家として取り扱うこととしています。具体的な活用方法については、防災機能としても活用している現状を考慮しながら、今後検討してまいります。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
33	佃小学校では、学校再編後の人数を収容可能か。	佃西小学校よりも校舎面積は狭く、現在の佃小学校だけでは両校の児童全員を収容することはできません。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
34	佃小学校の学校再編の話はいつ頃から生じたのか。経緯はどのようなものか。	佃小学校が適正配置対象校として区分されることとなったのは令和2年度です。昨年度（令和5年度）も保護者会代表者等と佃小学校の今後についての意見交換を行わせていただきましたが、学校再編に係る具体的な方法は議事にあがりませんでした。この度、今年度の入学者の状況も考慮のうえ、区において再編を進める方向性が決定したため、保護者説明会を開催いたしました。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
35	令和7年度新入生が本説明会の情報を知る機会はあるか。	学校にて開催される新入生向け説明会の一部の時間をいただき、ご説明させていただく予定です。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
36	中学校にも当該校の学校再編に係る意見を聞くのか。	小中一貫校や義務教育学校等、進学先の中学校を交えた学校再編となる際は、中学校の保護者・教員・関係者の方々に説明会等を通してご意見をお聞かせします。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
37	統合されるまで、佃小学校の在校生への配慮はあるか。	新設学校の開設までに事前の準備や交流がないままで、統合することは、児童の気持ちの負担も大きいと考えるため、新設学校の開校に向けて、両校の連携行事等の取組を検討してまいります。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
38	令和7年度入生が入学予定校を令和6年度中に変更することは可能か。	学校再編の検討段階であり、学校再編を理由とした指定校変更はできません。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
39	支援学級のために佃小学校を選んでいる児童や家庭に対する配慮はあるか。	統合後の学校においても児童数に合わせて教員が適切に配置されるものと考えます。加えて、統合のインセンティブ予算を用いて特別支援教育サポーターを配置するなどの方法を検討します。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
40	保護者説明会時において、学校再編方法等で決定している事柄はなにか。佃中学校も統合の対象か。	佃小学校の児童が適正規模の学習環境で学べるようにするため、学校再編を行う方針であることをお示しているところです。学校再編方法について決定している事柄はなく、小学校同士の統合案も考えられます。ただし、現在の佃西小学校だけでは児童が収容できないことや、小学校の統合により1中学校1小学校となることで、佃地区の統一感の向上が図られることから、中学校を交えた幅広い視野での検討が必要と考えています。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
41	現佃小学校1年生のみを佃西小学校に統合する方法はとれないか。令和10年度の学校再編では1年生にとって時間がかかりすぎるのではないか。	佃小学校の全学年が単学級という状況を鑑みると、1年生のみならず、学校全体の小規模化の解決を図ることが重要と考えます。ついては、1年生のみを統合する方法は考えておらず、考える最短の学校再編時期は令和10年度となります。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
42	学校再編の話が進むことにより、これまで以上に佃西小学校を希望する児童が増えるのではないか。	お見込みのとおりとなる可能性はあります。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
43	現在佃小学校に通っている児童は、佃西小学校に転校することができるのか。	現在の基準では、在校生は学校再編を理由とした指定校変更はできません。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
44	保護者説明会の資料内で、令和7年度に学校再編整備計画を提出することとなっているが、義務教育学校となる場合も同じスケジュールか。	お見込みのとおりです。学校再編方法に問わず、令和7年度に学校再編整備計画を公表するスケジュールにて検討を進めます。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
45	学校再編時期はいつか。いつ確定されるのか。	学校再編方法により異なりますが、学校再編時期は最短で令和10年度と考えます。学校再編時期は、学校再編整備計画に記載する必要があるため、令和7年度に決定する予定です。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会

46	小中一貫校や義務教育学校になると今とどう異なるのか。	小中学校の教育については、それぞれの指導要領に基づいて行うため、その点の違いはありません。義務教育を一体的に捉え9年間で児童生徒の学力向上を図れることなどが期待されます。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会
47	学校再編に伴う環境の変化に対して、どのように対応する予定か。	統合のインセンティブ予算を用いて、環境整備や職員の加配等を行うことにより、子どもたちへの再編にかかる負担軽減策を検討してまいります。	令和7年1月31日掲載 保護者説明会